

目次 Table of contents

新しい豊かさを支える

滋賀県の道づくり

- 【道路整備】 滋賀県の目指す道路整備 PAGE 2
道路整備の基本方針「滋賀県道路整備マスタープラン(第3次)」
- 【主要事業】 近年完成した滋賀県の主要事業箇所図 PAGE 3-4
- 【道路効果】 道路のストック効果とは PAGE 5
- 事例紹介

①安全・安心効果

- 【防災・減災】 災害に強い道路ネットワークの形成 PAGE 6
国道422号 大石東バイパス(大津市)
大津信楽線(大津市・甲賀市)
- 【安全・安心】 安全性の高い道路空間の形成 PAGE 7
愛知川彦根線(彦根市)

②生活の質の向上効果

- 【救急医療】 定時性の向上と安定輸送の実現による救命率向上 PAGE 8
愛知川彦根線(彦根市)
- 【救急医療】 高速道路へのアクセス性向上による救命率向上 PAGE 9
小谷城スマートIC(長浜市)
- 【地域交通】 地域間移動の円滑化 PAGE 10
五番領安井川線(高島市)

③生産性向上効果

- 【流通・交通】 アクセス時間短縮と地域の混雑解消 PAGE 11
草津守山線(都市計画道路:大津湖南幹線)
- 【地域産業】 地域経済の活性化 PAGE 12
草津守山線(都市計画道路:大津湖南幹線)
- 【観光振興】 観光地へのアクセスや周遊性の向上 PAGE 13
小谷城スマートIC(長浜市)
- 【観光振興】 自転車による周遊観光振興 PAGE 14
BIWAICHI ビワイチ

道路整備

Road maintenance

道路整備の基本方針「滋賀県道路整備マスタープラン(第3次)」

- 滋賀県では、「**滋賀県道路整備マスタープラン(第3次)**」を策定しており、目指すべき将来像～すべての人がどこにいても安全・快適に移動できる道路整備～を実現するため、**4つの取組の柱**のもと、施策に取り組みます。

取組の柱	施策
1 つながる・ひろがる	①産業活動や地域交流を支える道路整備(広域ネットワーク) ○円滑な人やモノの流れを実現するための環状および放射状の広域道路ネットワーク形成 ○交通渋滞の解消による産業活動等の活性化の支援 ○自動車、歩行者と共存しながら安全安心で快適なサイクリングを楽しむことができる走行空間整備の推進「ビワイチ」
	②拠点間のアクセス性を高める道路整備(地域ネットワーク) ○生活拠点や主要施設へのアクセス性を高め、日常生活の移動の安全性向上と円滑化を図る道路整備 ○交通結節点(スマートインターチェンジ等)の整備による拠点や主要施設間のネットワーク機能強化
	③気候変動等へ適応した道路整備(防災) ○ダブルネットワーク化や無電柱化の推進等による、災害時においても安定的な人流・物流の確保 ○異常気象時における地域の孤立化の防止に資する道路整備の推進 ○道の駅の災害時の利活用を想定した防災拠点としての機能強化
2 スムーズでグリーン	①新技術に対応した道路交通情報システムの構築(新技術) ○事故や渋滞を減らし、CO2削減にも貢献する道路交通情報システムの高度化の推進
	②環境負荷の軽減(環境) ○CO2排出の抑制に資する、交通管理者や交通事業者と連携した公共交通利用の促進 ○道路整備における再生エネルギーの利活用の推進
3 快適でセーフティ	①人中心の道路空間創出(車と人の共存) ○歩行者・自転車通行スペースの拡充などにより安全な移動空間を形成 ○車と人が共存できる道路空間への再編
	②街並みや沿道環境に調和した道路空間の整備(生活環境・景観) ○騒音や振動の抑制、連続した道路緑化などによる、良好な沿道環境への改善 ○地域の個性を活かした、魅力ある街並み・景観の形成
	③マイカーに頼りすぎないための道路整備(乗換拠点) ○多様な移動手段を利用しやすい駅やバス停・タクシールールなどの乗換拠点の整備
	④誰もが利用しやすく、人に優しい道路整備(ユニバーサルデザイン) ○すべての人が利用しやすく、安全で快適な道路環境の形成
4 行きたくなる・居たくなる	①にぎわいと交流の場の創出(にぎわい) ○曜日や時間帯に適した道路の使い方による、にぎわいのある道路空間の創出
	②ICT等の活用による効率的で利便性の高い交通の確保(新技術) ○様々な移動をシームレスにつなぐMaaSなど新たな交通マネジメントの導入 ○地域内において提供される自動運転等への対応

主要事業

Main projects

川合千田線(現道拡幅・歩行空間整備) R4年3月供用



～車道の拡幅・歩行空間整備により、
車両通行・通学路の安全を確保～

国道303号(線形不良区間改良) R3年2月供用



～線形不良区間の解消により、防災性が向上～

(都)片岡栗東線(4車線化) R4年3月供用



～狭小な現道を4車線で拡幅することにより、
渋滞を解消し、物流ネットワークを強化し産業を支援～

大津能登川長浜線(交差点改良) R4年3月供用



～右折レーンの整備により、交差点の渋滞を解消～



近年完成した滋賀県の主要事業箇所図



●: 近年完成した主な事業箇所

大野木志賀谷長浜線 長岡バイパス R5年7月供用



～バイパスの整備により、
地域交通と通過交通を分離し地域の安全を確保～

敏満寺野口線 (交差点改良・歩行空間整備) R2年9月供用



～国道8号野口交差点・中山道出町交差点改良により、
交差点の渋滞解消と歩行者の安全を確保～

日野徳原線 内池バイパス R2年11月供用



～ラウンドアバウトを含むバイパス道路の整備により、
国道307号と国道477号のアクセス性を向上～

小佐治甲南線 (歩行空間整備) R3年3月供用



～歩行空間整備により、通学路安全対策必要箇所を解消し、
通学路の安全性を向上～

道路効果

Road stock effect

道路のストック効果とは

- 道路のストック効果とは、完成した道路が機能することで、整備直後から継続的かつ中長期にわたって得られる効果です。
- ストック効果には災害や事故の被災リスクの低減といった「安心・安全効果」や、人々が健康で快適に過ごすための生活環境を改善する「生活の質の向上効果」、移動時間の短縮によるコストの縮減や自由時間創出に伴う「生産性向上効果」があります。



防災・減災 自然災害による被害の軽減

安全・安心 交通の安全の確保



救急医療 高次医療施設へのアクセス性

地域交通 交通サービス水準の向上

環境 温室効果ガス排出量の削減等



流通・交通 アクセス時間短縮

地域産業 企業立地件数や出荷量の増加

雇用 求人数、雇用者数の増加

観光振興 観光入込客数の増加等

出典：「ストック効果の最大化を図る社会資本整備の推進」国土交通省 をもとに作成

防災
Disaster prevention
減災
Disaster mitigation

災害に強い道路
ネットワークの形成

国道422号 大石東バイパス (大津市) R1年6月供用
大津信楽線 (大津市・甲賀市) R5年3月供用

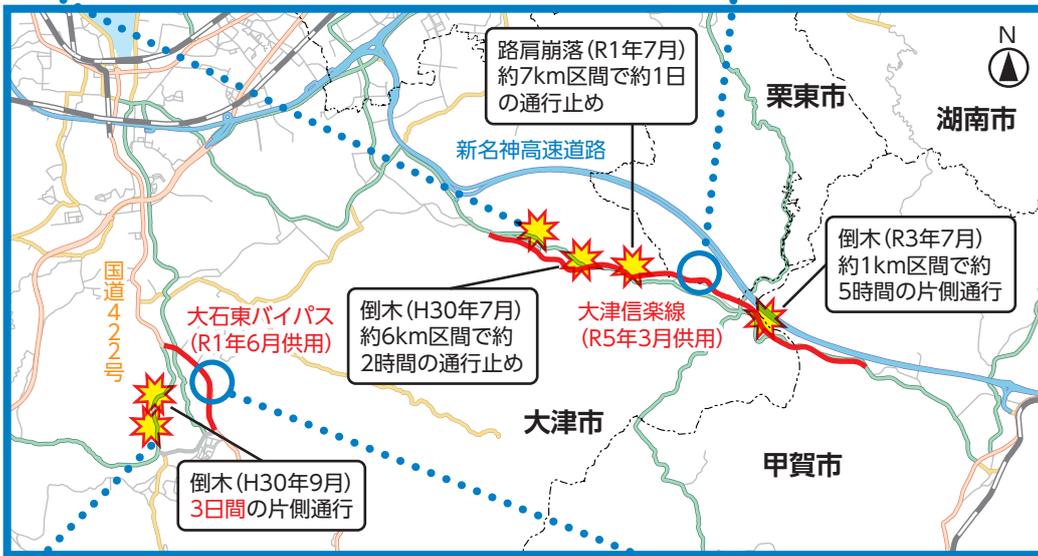
- 信楽地域や三重県へのアクセスルートである国道422号や大津信楽線では、大雨によるのり面崩壊などの災害が発生しやすい区間がありました。
- 大石東バイパスや大津信楽線の整備により、災害に強い道路ネットワーク形成に寄与しています。

大津信楽線 (旧道)



土砂流出 (R3年8月)
約6km区間で約4カ月間の
通行止め

大津信楽線



国道422号 (現道)



法面崩壊 (H24年8月)
約3日間の通行止め

国道422号 (大石東バイパス)



安全
Enhanced safety
安心
Peace of mind

安全性の高い道路空間の形成

愛知川彦根線(彦根市)

R4年3月供用

- 彦根市稲枝地区の通学路要対策箇所では、道路や踏切を横断する小・中学生にとって危険な状況でした。
- 愛知川彦根線の整備により、安全な通学路確保に寄与しています。

整備前(踏切)



整備後(アンダーパス)



稲枝駅周辺の通学路



整備後(橋梁部)



稲枝東小学校

本校の通学区域である稲枝地区・服部地区の児童は、**交通量が多い愛知川彦根線を横断**する必要があり、踏切待ちの車両が多い時には見通しも悪く、危険な状況でした。
アンダーパスの整備により、**交通量の多い道路の横断がなくなり、安全に通学**できるようになりました。

救急医療

Emergency care

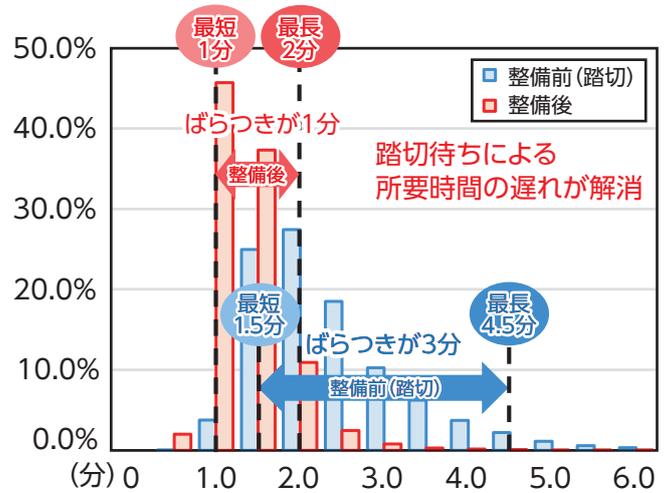
定時性の向上と安定輸送の実現による救命率向上

愛知川彦根線(彦根市)
R4年3月供用

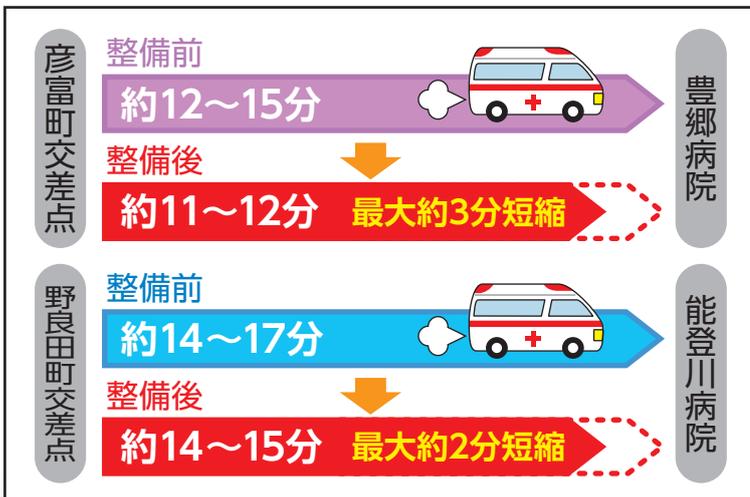
- 鉄道との立体交差化により、踏切が撤去されました。
- 踏切による交通遮断が解消され、安定した救急搬送が実現し、救命率の向上に寄与しています。



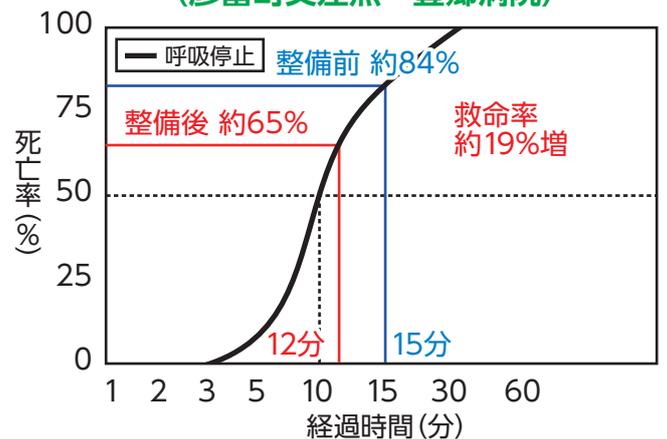
【踏切解消による定時性の変化】
(彦富町交差点～野良田町交差点)



出典:ETCプローブデータ 整備前:2021年9~11月、整備後:2023年9~11月 ※最短と最長の所要時間は所要時間上位5%と95%を示している。



【カーラー救命曲線(呼吸停止)】
(彦富町交差点～豊郷病院)



出典:道路交通センサス(R3)

救急医療

Emergency care

高速道路へのアクセス性向上による救命率向上

小谷城スマートIC(長浜市)

H29年3月供用

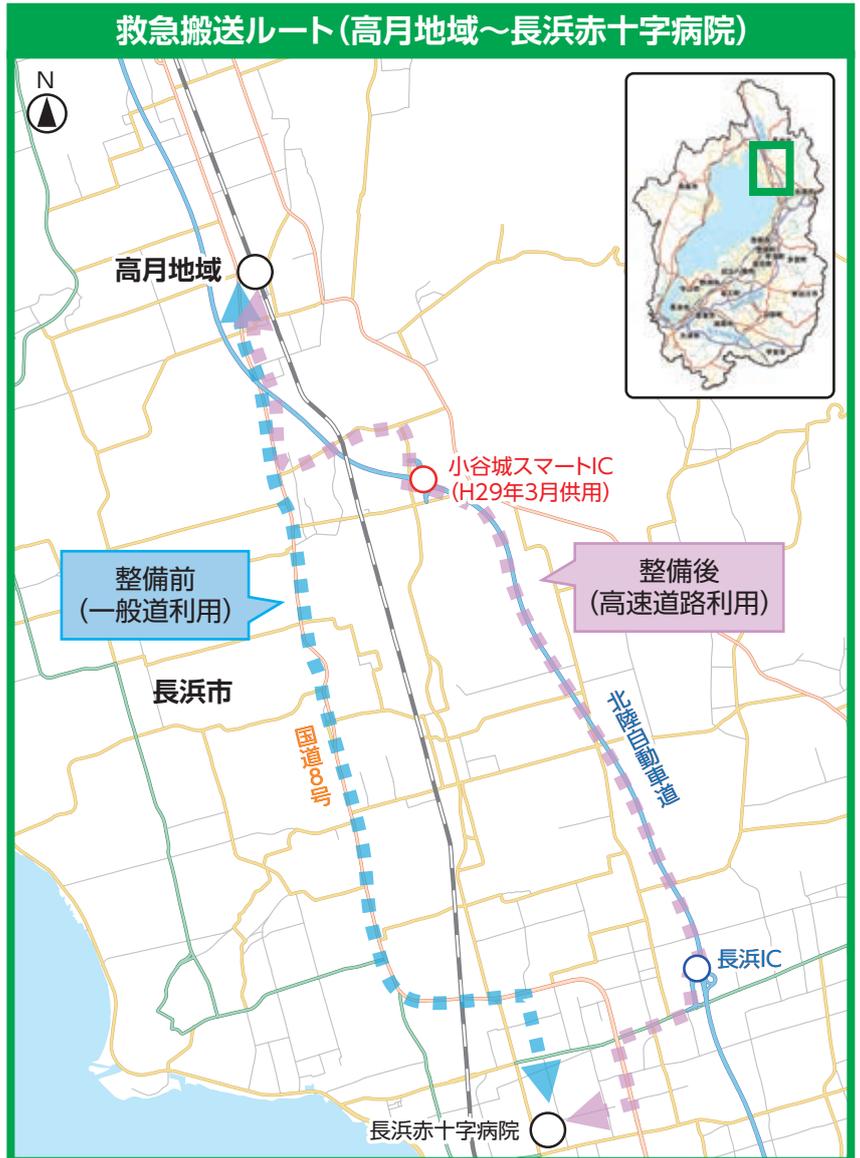
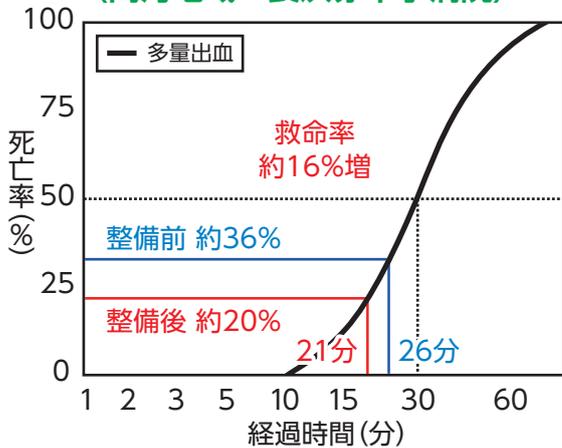
- スマートICの整備により、高月地域から長浜市内の3次医療施設へのアクセス時間が短縮しました。
- 救急要請地点から病院への搬送時間、病院からのドクターカー合流地点への到着時間短縮の両面から救命率の向上や重症化率の低下に寄与しています。

【所要時間の変化】 (高月地域～長浜赤十字病院)



出典: 道路交通センサス(R3)

【カーラー救命曲線(多量出血)】 (高月地域～長浜赤十字病院)



長浜赤十字病院ドクターカー



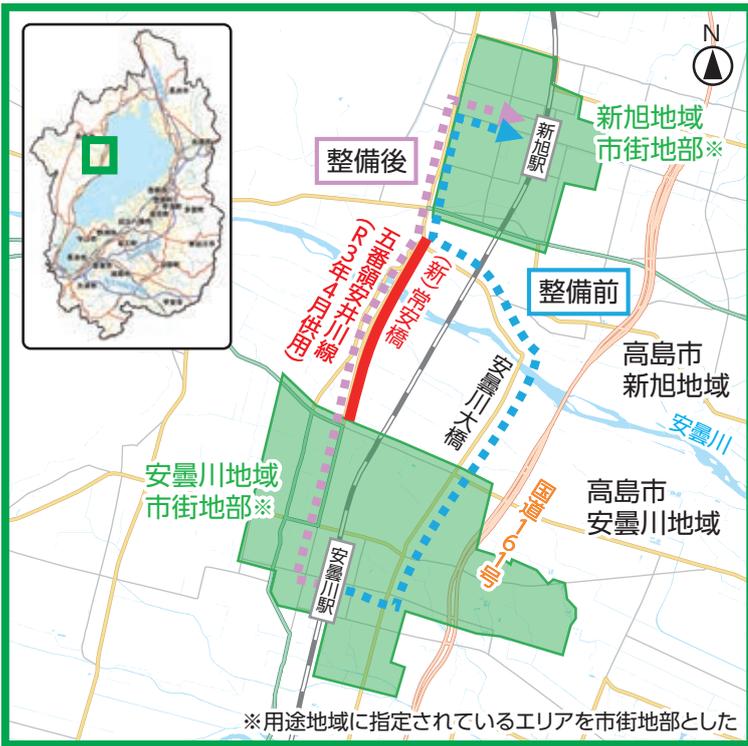
ドクターカーとは・・・

119番通報の内容により病気やけがの状態が重症であると予測された場合に、消防本部の判断で病院に対してドクターカー派遣が要請され、要請が入れば直ちに(3分以内)出動し、活動中の救急隊と合流し、初期治療を行いながら病院に向けて搬送を行います。

Regional transportation
地域交通

地域間移動の円滑化 五番領安井川線(高島市) R3年4月供用

- 離合困難かつ重量制限が解消されたことにより、地域活性化および円滑な地域間移動に寄与しています。
- 旧橋の老朽化対策にもつながり防災にも寄与しています。

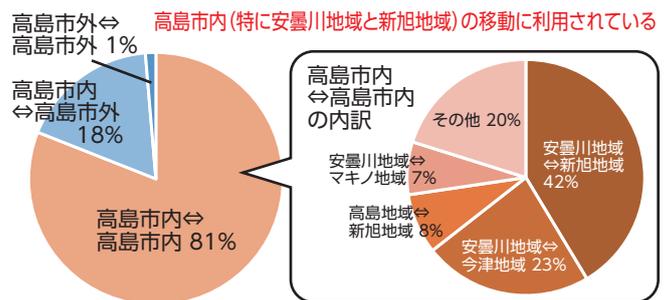


【所要時間の変化】(安曇川駅～新旭駅)



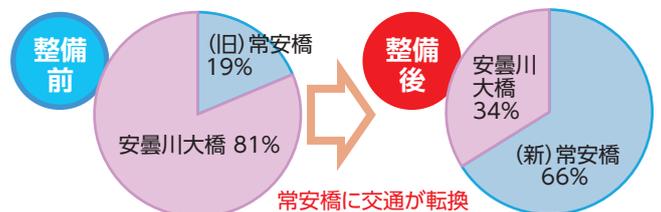
出典:道路交通センサス(R3)

【安曇川大橋と(新)常安橋の利用交通】



出典:ETC2.0プローブデータ 令和5年9～11月

【安曇川大橋と(新・旧)常安橋の利用比率】(安曇川地域⇄新旭地域)



出典:ETC2.0プローブデータ
(整備前)令和元年9～11月、(整備後)令和5年9～11月



高島市

(旧)常安橋は地域住民にとっては新旭地域と安曇川地域を結ぶ最短経路であるものの重量規制や狭幅員により離合困難であったため、**安曇川大橋まで迂回する利用者が多く見られました。**五番領安井川線((新)常安橋)の整備により、**地域間移動の利便性が向上しました。**

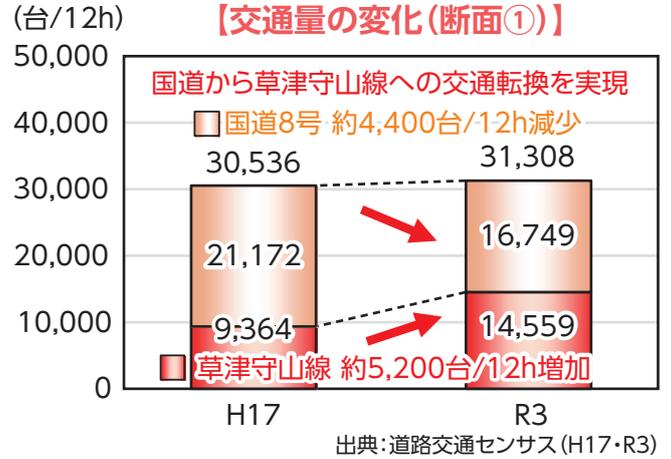
流通
交通

アクセス時間短縮
と地域の混雑解消

草津守山線(都市計画道路:大津湖南幹線)
H27年3月供用

- 幹線道路の整備により、混雑する国道などの並行路線から草津守山線へ交通が転換しました。
- 走行性の高い道路が整備されたことにより、交通分散が図られ、地域全体の混雑緩和に寄与しています。

草津守山線

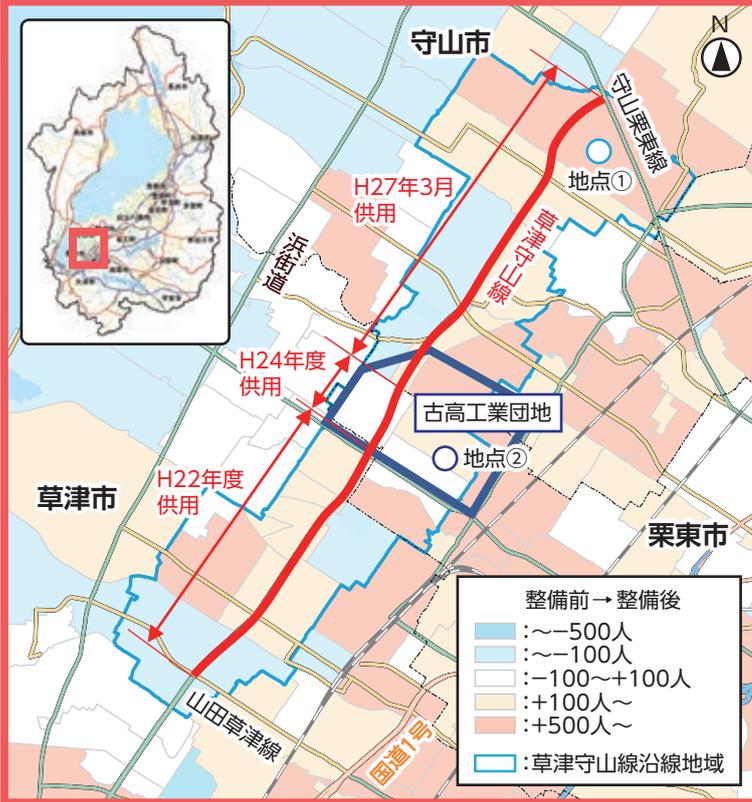


Local industry
地域産業

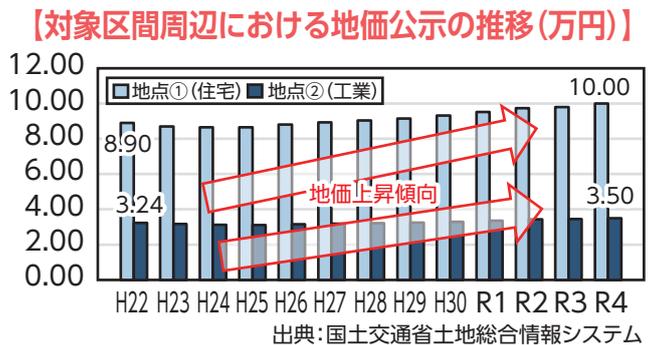
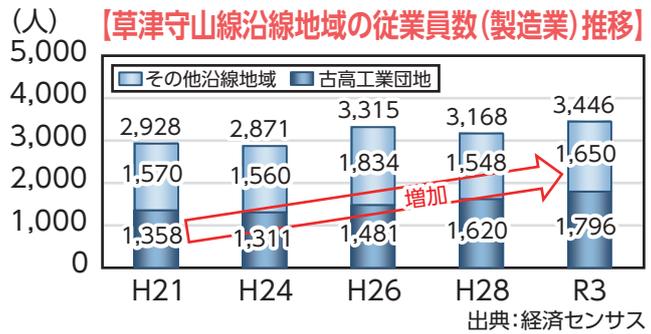
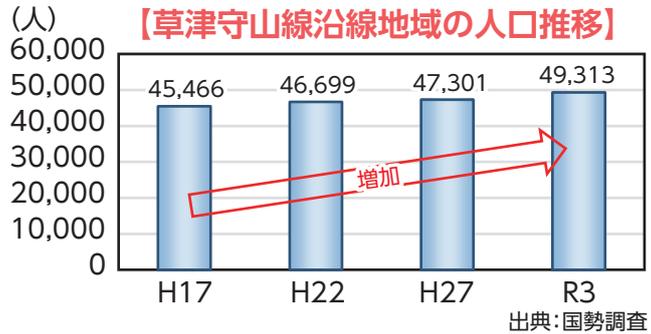
地域経済の活性化 草津守山線(都市計画道路:大津湖南幹線)
H27年3月供用

- 幹線道路の整備により、沿道の利便性が向上し、土地利用が進んだことで、人口や従業者が増加し、地価の上昇にもつながっています。
- 工業団地の拡大が予定されるなど、地域経済の活性化に寄与しています。

対象区間周辺における人口の推移(町丁大字単位)



出典:(整備前)H17年国勢調査結果、(整備後)R3年国勢調査結果



地元製造業①

草津守山線沿いに本社と工場があり、1日当り20~30人の従業員が草津守山線で往来しています。草津守山線の整備により、本社との往来利便性の向上が期待できたことから、古高工業団地内へ進出しました。

地元製造業②

製造品の出荷は大型トレーラーを利用しており、高速道路までのアクセスに草津守山線を利用しています。4車線の道路であり、工業団地内への右左折の際に後続車両への影響がほとんど無いなど、大変便利に感じています。

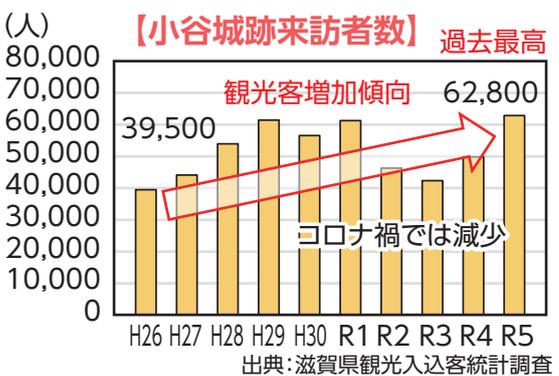
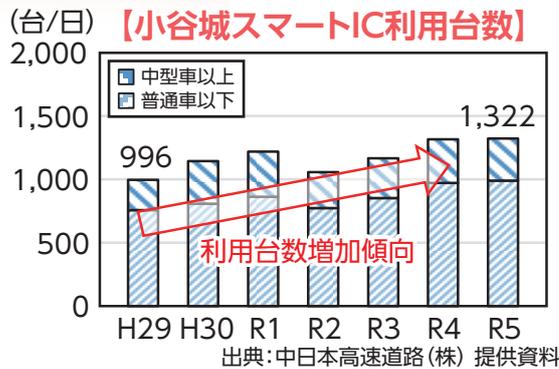
観光振興

観光地へのアクセスや周遊性の向上

小谷城スマートIC (長浜市)

H29年3月供用

- 小谷城スマートICでは利用台数が増加傾向となっています。
- 周辺観光施設の来場者数が増加しており、新たな観光施設の建設が進められるなど、観光振興に寄与しています。



観光協会

小谷城スマートICの整備により、県外からのアクセス性向上や、長浜市内の観光周遊性が向上しました。特に観光シーズンには木之本IC周辺で著しい渋滞が頻発しており、小谷城スマートIC利用による交通分散は観光振興に役立ってます。

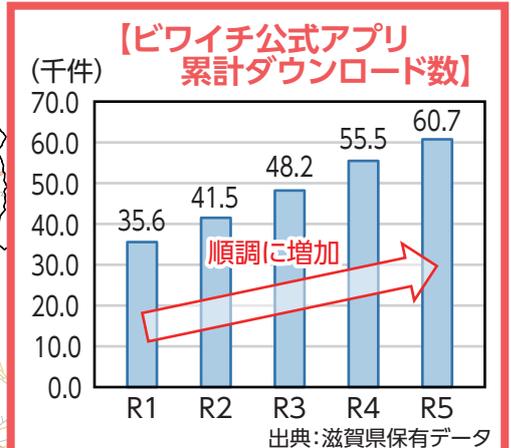
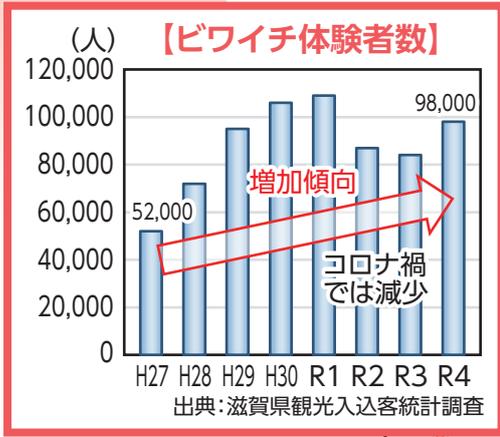


Tourism promotion
観光振興

自転車による周遊観光振興

BIWAICHI ビワイチ

- 安全安心な自転車走行空間の確保のため、青矢羽根や自転車通行帯の整備を進めており、令和4年には低速コース約196kmが完成しました。
- 加えて、サイクルサポートステーション等のサイクルツーリズムへのサポート体制充実により、ビワイチ体験者やビワイチ公式アプリ「ビワイチサイクリングナビ」のダウンロード数が増加するなど、滋賀県内全域での自転車周遊観光の振興に寄与しています。



サイクルサポートステーション

トイレや空気ポンプの貸し出し等を行うサイクリストおもてなし拠点



大津港サイクルステーション (R4年4月オープン)

米原駅サイクルステーション (H28年10月オープン)



ビワイチサイクリングナビ -ShigaTrip-



自転車通行帯



青矢羽根

ビワイチコース ■ : 低速コース ■ : 上級コース

- ビワイチ低速コース (H29年時点) 48.3km → (R4年時点) 196.3km完成
- 上級コース (H29年時点) 2.4km → (R5年時点) 20.7km

- サイクルサポートステーション**
- : サービス開始当初 (H29年3月時点) 129箇所
 - : 現在 (R5年11月時点) 358箇所

SHIGA

Road Construction

～新しい豊かさを支える～
滋賀県の道づくり



母なる湖・琵琶湖。
——あずかっているのは、滋賀県です。

編集発行

滋賀県土木交通部道路整備課

〒520-8577 滋賀県大津市京町4-1-1

TEL 077-528-4132

E-mail ha03@pref.shiga.lg.jp



令和6年3月発行